

【令和4年度第2回伊吹山を守る自然再生協議会】

議事録

■日 時 令和5年3月22日（水）14時00分～16時00分

■会 場 米原市役所本庁舎1階 コンベンションホール

■出席者（敬称略）

出席：25人（うち代理出席6人、ZOOM出席4人）

伊吹山もりびとの会（西澤）、伊吹山ネイチャーネットワーク（山下）、上野区（堀江）、伊吹山観光振興会（代理：高橋(兵)）、ユウスゲと貴重植物を守り育てる会（代理：瀧澤）、びわ湖の素 DMO（代理：^{ほうむら}法邑）、山頂山小屋組合（松井）、日本自動車道（水谷）、滋賀鉱産（代理：柴田、南浮）、近江鉱業（上阪）、岐阜県環境生活政策課（代理：安達、日下部[ZOOM]）、揖斐川町商工観光課（高橋[ZOOM]）、関ヶ原町地域振興課（難波）、米原市自治環境課（瀧上）、米原市まち保全課（深田）、米原市生涯学習課（代理：石田）、滋賀県文化材保護課（代理：内藤）滋賀県琵琶湖環境部（中村）、滋賀県自然環境保全課（辻田）、滋賀県湖北環境事務所（内藤）、須藤、高柳[ZOOM]、柳沢[ZOOM]、青木、柴田

欠席：7人

環境省近畿地方環境事務所野生生物課（深田）、文化庁文化財部記念物課（田中）、岐阜県揖斐県事務所環境課（野田）、長浜市都市計画課（井口）、米原市シティセールス課（坂）、米原市地域振興課（石河）、野間

■議事進行 会長：中村（滋賀県琵琶湖環境部次長）

[凡 例] 会長◆ 委員○ 事務局等●

報告事項

(1) 令和4年度入山協力金事業経過・予算執行報告について（資料1）

(2) 令和5年度伊吹山入山協力金事業計画書および予算書について（資料2-1～2-3）

・令和4年度入山協力金事業経過・予算執行報告、令和5年度伊吹山入山協力金事業計画書および予算書について、事務局より説明が行われた。

○（委員）資料1入山協力金事業経過で累計を記載されているが、月でいくらかわかるようにした方がよい。年間何日ぐらい収受事業を行っているのか。地域おこし協力隊はもう決まっているのか。

●資料は次回の協議会より修正する。収受については年間120日程度実施している。協力隊は現在選考中である。

- （委員）伊吹山みらいづくり隊は効果がわかるようにした方が良い。
- 伊吹山みらいづくり隊は米原市の事業である。

- （委員）植生復元について3合目のススキを移植とあるが、7合目付近のススキは残っていないのか。近くから株分けする方が良い。
- 植生復元の資料は米原市の事業。7合目付近にはススキほとんど残っていない。ススキ移植については、また相談したい。

- （委員）植生マットの成分は？どこの山のものか？
- また許可申請の際に詳しく説明させていただく。

- （委員）アーチ式獣害対策ネットはプラスチックであれば、曲がる可能性がある。設置前の植物の状況と設置後の記録を取って効果を検証した方が良い。雪に耐えるのか。傾斜はどの程度か。
- 市内で事例があり、雪にも耐えられると聞いている。傾斜は30度程度である。

- （委員）近年登山道での事故が増えている。登山道維持管理事業ですが、30万円程度であるが、これでは厳しいのでは。県予算で対応するのか。
- 登山道は県道になっており、県予算で維持管理を行っている。それで賄えない部分を協議会の費用で賄っている。

- （委員）南斜面の件、伊吹鉦山の緑化現場の確認を行ったが、吹付の種子、シカの食害、標高等様々な問題がある。完全復元には至らない。ススキの種子を敷き詰めることは過去にしていた。ススキの株を移植するのはいいが、施工が大変。きめ細かな対応が必要。
- （委員）緑化にコクサギを検討されていたが、コクサギはかぶれたりするため、導入される際は注意した方が良い。
- （委員）登山道の事故が10件以上あるとのことで、しっかり報告した方が良い。オオバキボウシ柵の説明が何もなかったが、今年是对応をしないのか。
- オオバキボウシ柵の箇所はまた相談させてもらおう。
- （委員）登山道の作り方が適切かどうかわからない。

（3）各団体保護活動について（資料3-1～3-3）

- ・伊吹山もりびとの会、伊吹山ネイチャーネットワークおよびユウスゲと貴重植物を守

り育てる会より活動の説明が行われた。

(伊吹山ネイチャーネットワーク)

- (委員) 計画的に調査をされていることに感謝。今までは防護柵で全体を囲うことを実施していたが、これからは種ごとに個別の対策を実施していく段階に来ていると思われる。
- (委員) 今年は調査できない区域があったことは残念。カメラマン対策についてドライブウェイさんの看板設置等で対応いただいたことには大変感謝している。
- (委員) 柵上げの際は、また知らせてほしい

(伊吹山もりびとの会)

- (委員) 個人での活動は会の活動と分けた方がよい。

(ユウスゲと貴重植物を守り育てる会)

- (委員) 調査・保全・啓発の三位一体が大切。素晴らしい活動を継続しておられる。キセワタは防護柵内でしか見られない。今後の保全活動にも期待している。

(4) 岐阜県における伊吹山の生態系回復への取り組みについて(資料4)

・岐阜県における伊吹山の生態系回復への取り組みについて、岐阜県環境生活政策課より説明が行われた。

- (委員) 数年前に滋賀県側で実施された結果と同じような結果であったと思われる。
- (委員) 重要なのは積雪時に調査することで、それが実施されていない。積雪後山頂に戻ることが重要である。尾根を使って移動しているのであれば、そのルートで捕獲計画を立てることも検討すべきである。
- (委員) GPS調査の個体の性別はどうだったか。
- 3個体ともメスに取り付け調査を行った。

その他

- (委員) 次回の協議会で滋賀産産の取組を報告してほしい。
伊吹山のゴンドラの件は、今後どうするか。びわ湖の素DMOは他のところで観光事業をされているし、民間活用を含めてゴンドラの利活用か撤去か期限を決めて、報告してほしい。
- 現在事業者は解散されている状況ではないが、連絡が取れない状況。
- (委員) 方向性を報告してほしい。なるべく早く決めないと、いつまでたっても進まない。

●難しい問題であるため、今後検討していきたい。

○（委員）上野区所有地に入る際は入山許可申請書を提出するように変更する。2合目の入り口に柵を設置することも検討している。

南斜面で 20mm しか雨降っていないのに土砂崩れが発生した。土木工事を実施してほしい。このままでは人家に被害が出かねない。関係部局に情報共有してほしい。県と市だけで話を進めず、地元自治会も話の場に入れてほしい。